

4 市民・事業者の環境に関する意識

▶ アンケート実施概要

区 分	小学生・中学生	一般市民	事業者
調 査 時 期	平成13年3月	平成12年12月	平成12年12月
調 査 対 象	市内小学校8校の5年生 市内中学校5校の2年生	市内居住者(18歳以上)より、 無作為抽出	市内の事業者より無作為抽出
調 査 方 法	各小・中学校に調査依頼	輸送による質問紙留置法	輸送による質問紙留置法
発 送 件 数	348	2,000	300
有 効 回 答 数	348(小201、中147)	907	99
回 収 率	100%	45.4%	33.0%

(1)一般市民や子ども達の環境への意識

▶ 塩竈の海の影響

塩竈の海に対し、「汚い」と感じる人が全体の7割以上を占めています。

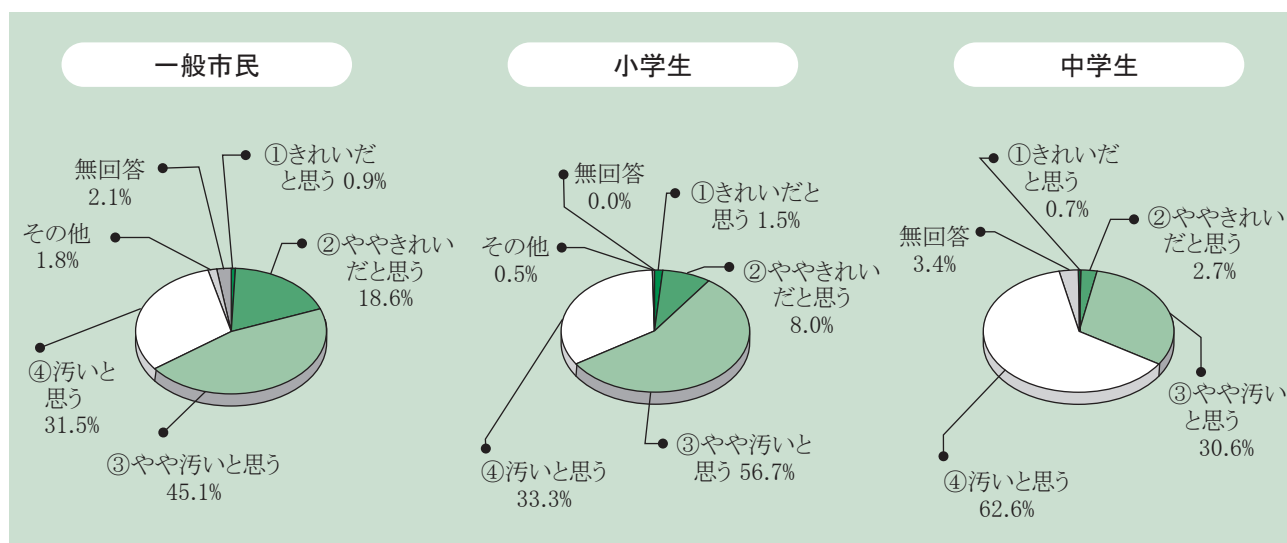


図4-1 塩竈の海の印象

▶ 身近な環境問題に対する問題意識

身近な環境問題として「ごみの問題」をあげる人が最も多く、回答者の半数が問題意識を持っているという結果でした。また、「海のよごれ」を懸念する声が多いほか、「公共交通の整備状況」や「景観の悪化」、「公園等の不足」など、生活環境の快適さに問題を感じる傾向にあります。

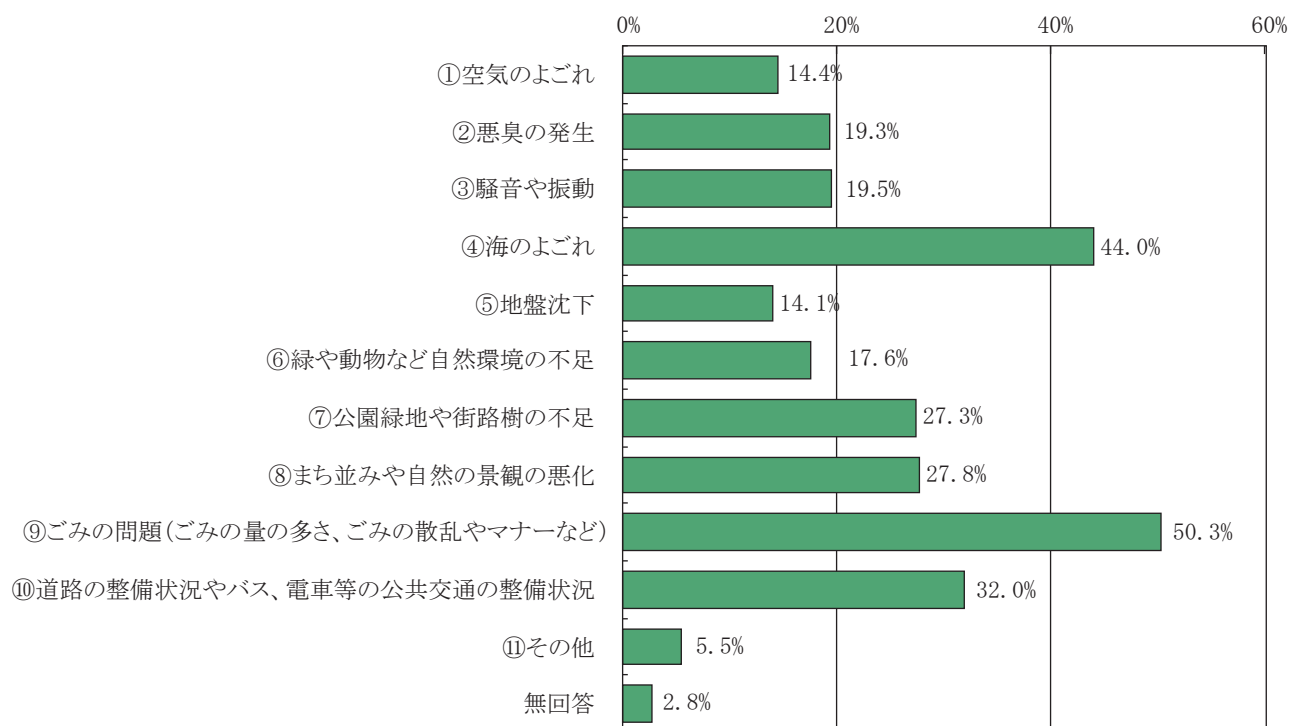


図4-2 身近な環境問題に対する問題意識（複数回答）

▶ 塩竈市の環境づくりの方向性

半数を超える回答者が「環境との調和を図りながら、まちの活性化を優先していくべき」と答えており、「環境保全を優先」の回答(①、②の合計)34.1%を大きく上回っています。

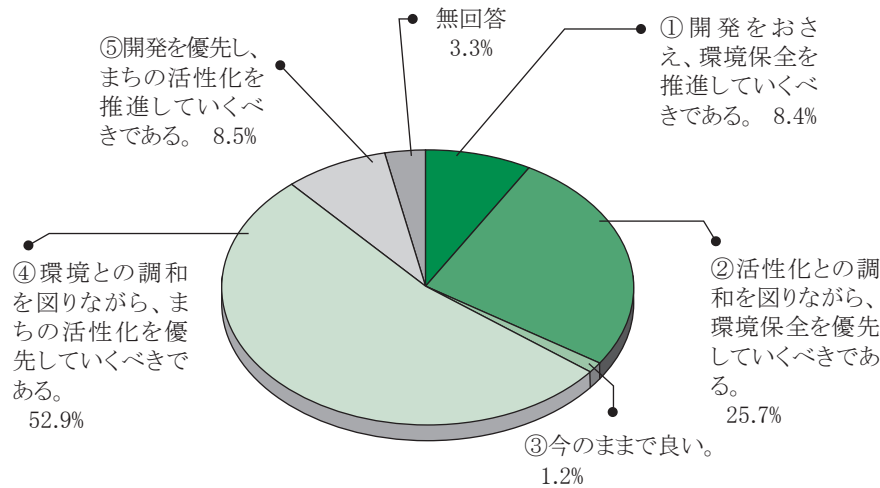


図4-3 塩竈市の環境づくりの方向性

年齢別にみると、若年層では環境保全への意識が高く、中高年層になるに従い、活性化を望む回答が多くなる傾向にあります。

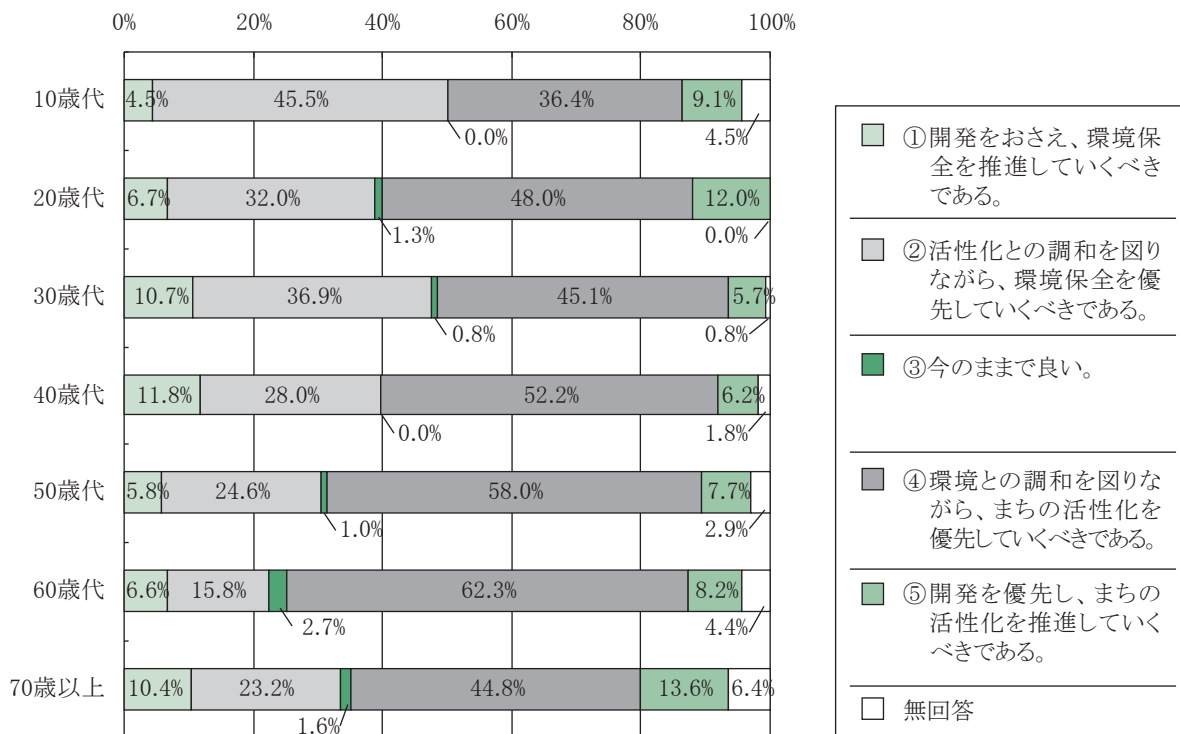


図4-4 塩竈市の環境づくりの方向性（年齢別）

▶ 塩竈に望む将来の環境像

塩竈に望む将来の環境像としては、「歴史と伝統の調和がとれた景観が残るまち」や「子どもからお年寄りまで快適に過ごせる公園や水辺空間のあるまち」を望む声が高く、ゆとりある環境が重視される傾向にあります。

また、身近な環境問題への意識を反映して「海や緑を保全・活用するまち」の回答率も高くなっており、特に子どもからはきれいな水を求める声が多くなっています。

さらに、全体のほぼ4分の1の人が、「市民一人ひとりが環境への配慮を日常的にできるまち」をあげており、市民の主体的な取り組みへの姿勢がうかがえます。

一般市民

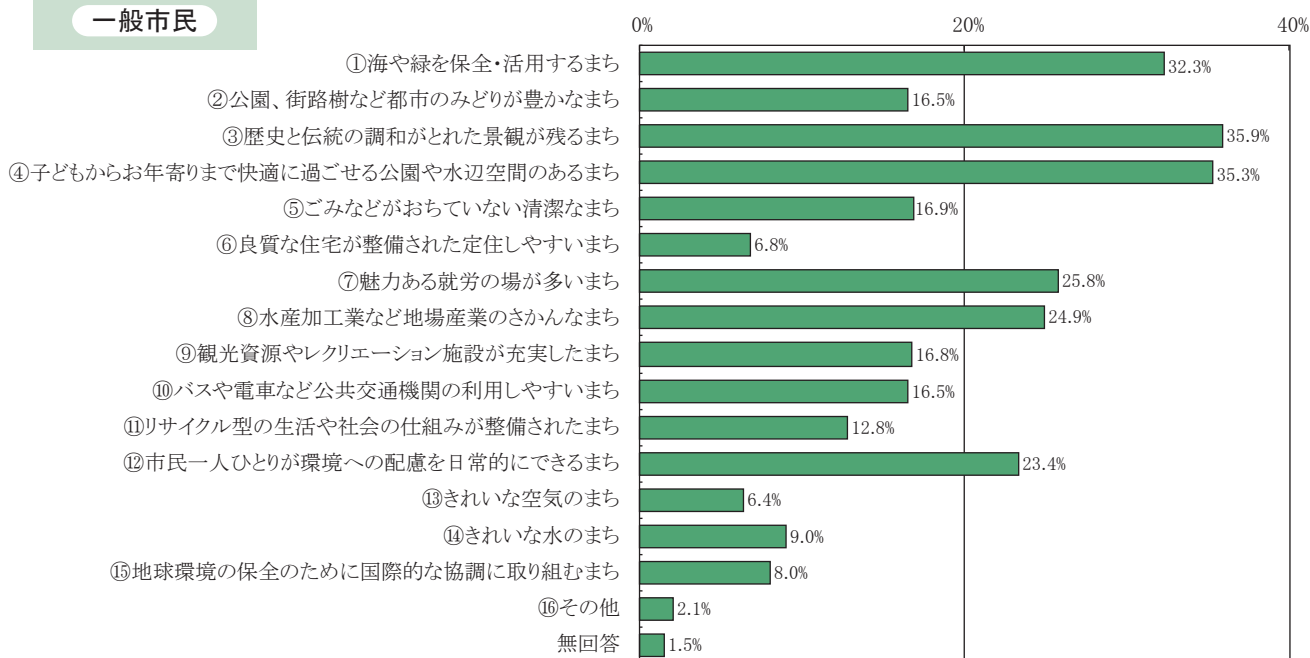


図4-5 一般市民が塩竈に望む将来像（複数回答）

子ども

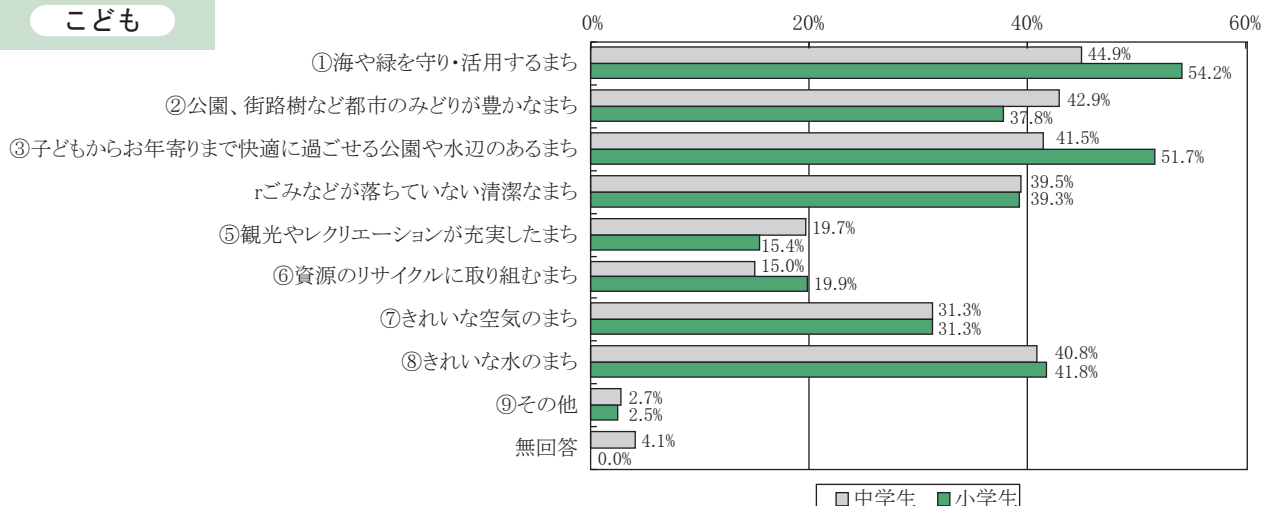


図4-6 子どもが塩竈に望む将来像（複数回答）

▶ 行政・事業者に期待する環境保全の取り組み

行政に期待する環境保全の取り組みとしても、「海や緑の保全・活用」「ごみの減量化やリサイクルの推進」の回答がそれぞれ多くなっているほか、「環境に配慮した土地の利用や都市計画」も30%を超える回答となっています。

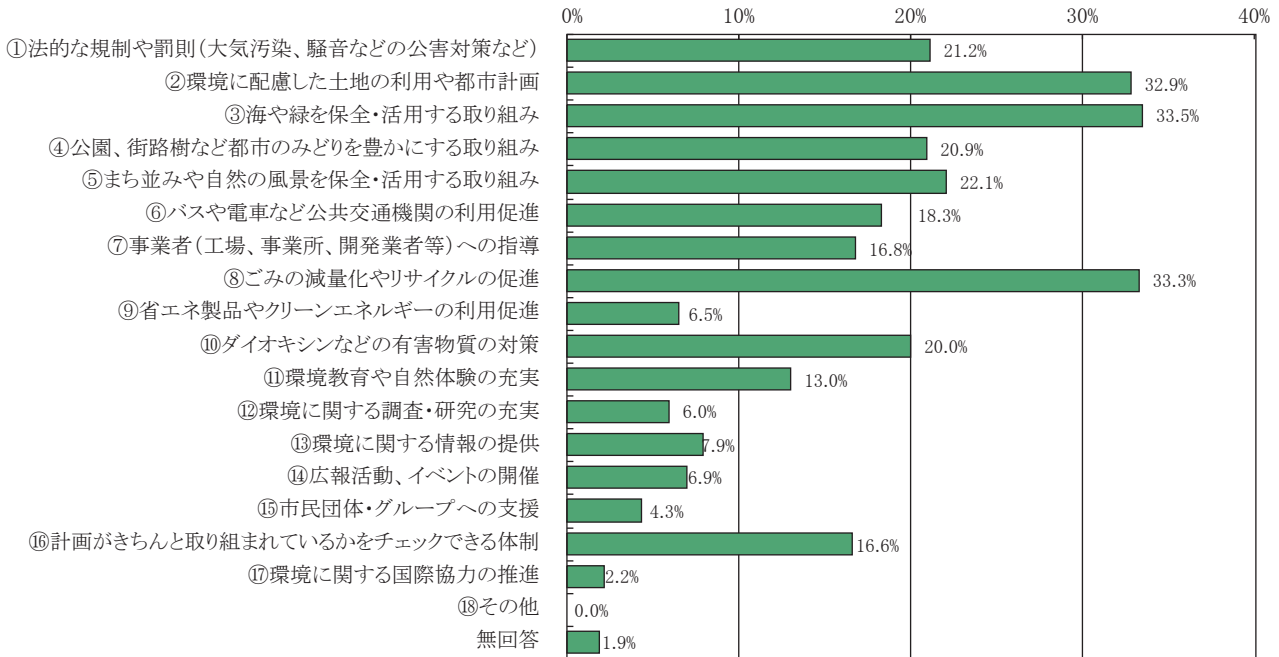


図4-7 行政に期待する環境保全の取り組み（複数回答）

「廃棄物対策」が6割を超えるほか、「商品の修理や回収」が3割に達するなど、ごみ問題への関心の高さを反映しています。また、「環境に影響の少ない原料や再生資源の利用」、「公害の防止」など、事業活動から生じる環境負荷の軽減につながる取り組みへの期待が高い傾向にあります。

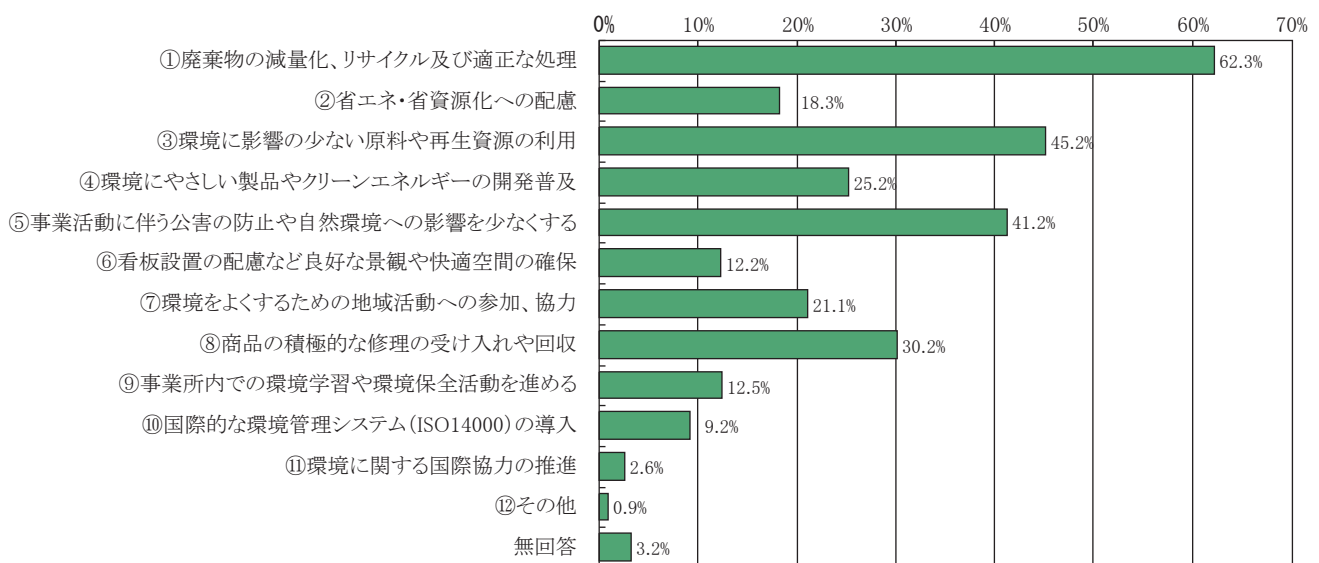
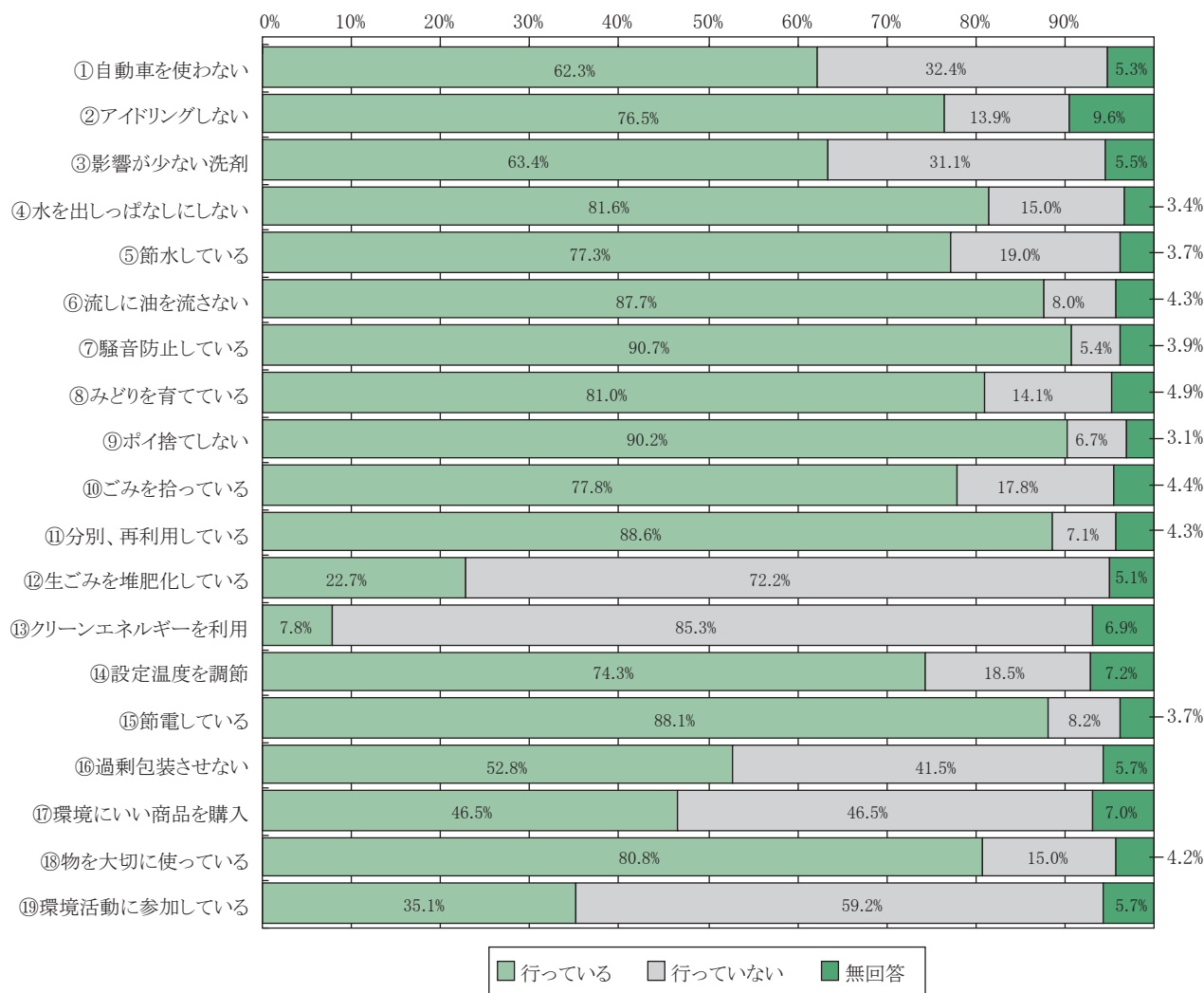


図4-8 事業者に期待する環境保全の取り組み（複数回答）

▶ 環境への配慮の実施状況

「生ごみの堆肥化」(実施率21.2%)、「クリーンエネルギーの利用」(7.3%)など経済的な負担が大きい取り組みについては実施率が低いものの、概ね6割～8割の実施率となっており、環境への配慮が比較的定着化・日常化しつつあるといえます。



- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|
| ① 公共交通や歩いて行ける所に行く時は、自動車を使わないようにしている。 | ⑨ 道ばたなどにごみをボイ捨てしない。 |
| ② 自動車のアイドリング、空ぶかしをしないように努めている。 | ⑩ 家の周辺のごみを拾っている。 |
| ③ シャンプーや洗剤などは環境への影響が少ないものを適量使用している。 | ⑪ ごみの分別、再利用に取り組んでいる。 |
| ④ 水を出しっぱなしにして顔を洗ったり、歯をみがいたりしない。 | ⑫ 生ごみはコンポストなどで堆肥化している。 |
| ⑤ お風呂の残り水を洗濯に利用するなど、節水に心がけている。 | ⑬ ソーラーパネルの設置などクリーンエネルギーを利用している。 |
| ⑥ 流しに天ぷら油などを流さない。 | ⑭ 設定温度は、暖房はなるべく低く、また、冷房はなるべく高くしている。 |
| ⑦ とおり近所への騒音防止に心がけている。 | ⑮ 節電に心がけている。 |
| ⑧ 家やその周辺でみどりを育てている。 | ⑯ 過剰包装の簡素化や買い物袋の持参などに努めている。 |
| | ⑰ エコマーク商品などの環境に負担が少ない商品を選んで購入している。 |
| | ⑱ 物は修理して大切に使っている。 |

図4-9 環境への配慮の実施状況

▶ 環境活動への参加状況

「参加したことがない」が52.0%で、「参加したことがある」を上回っています。

男女別には「参加したことがある」の回答率は女性よりは若干男性の方が高く、男性の約半数が「参加したことがある」と回答しています。年齢別には高齢層になるほど「参加したことがある」の回答率が高くなる傾向にあり、70歳以上の層では6割に達しています。

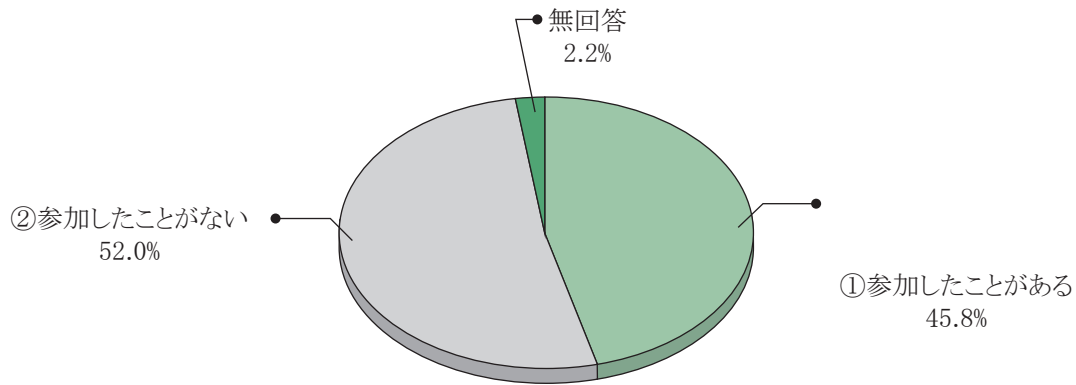


図4-10 環境活動への参加状況

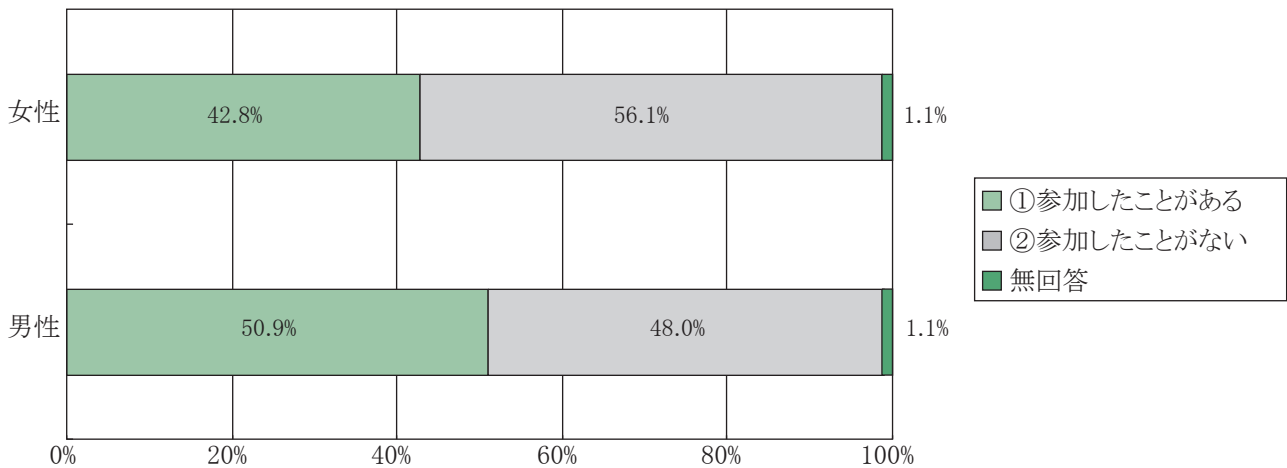


図4-11 環境活動への参加状況(男女別)